



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社ファルコSDホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4671 URL <http://www.falco-sd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平崎 健治郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役戦略業務室長 (氏名) 安田 忠史 TEL 075-257-8585
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	47,046	1.6	1,253	△24.9	1,284	△22.1	2,588	208.6
25年3月期第3四半期	46,307	△0.2	1,669	△15.8	1,650	△15.9	838	42.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,822百万円 (298.4%) 25年3月期第3四半期 945百万円 (88.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	212.24	—
25年3月期第3四半期	68.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	35,677	16,386	45.9
25年3月期	37,300	14,342	38.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 16,386百万円 25年3月期 14,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	13.00	—	12.00	25.00
26年3月期	—	12.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	17.50	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成25年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当11円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,200	△7.3	1,300	△38.9	1,300	△40.5	2,500	93.7	204.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	12,280,177株	25年3月期	12,280,177株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	627,924株	25年3月期	57,794株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	12,197,352株	25年3月期3Q	12,256,268株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和政策や政府による経済政策を背景に円安・株高が進行し、景気は回復基調にあるものの、欧州の金融不安の長期化や中国の経済成長の鈍化等を背景とした世界経済の減速や円安による物価上昇等が懸念されており、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループを取り巻く受託臨床検査市場及び調剤薬局市場は、隔年毎に実施される診療報酬及び調剤報酬の改定や薬価改定の影響に加え、同業社間の競争が激化しており、厳しい市場環境が続いております。また、ドラッグストア市場は、個人消費は回復基調にあるものの、消費者の低価格志向や節約志向は依然として根強く、同業社間の出店競争や価格競争も依然として厳しい状況となっております。

当社グループでは、このような経営環境のもと、グループ内の事業再編を進め、コスト構造の見直しを図るとともに、各事業において収益力の向上に取り組んでおります。

また、主力事業である臨床検査事業及び調剤薬局事業に経営資源を集中し、医療機関とのBtoBビジネスの更なる発展を目指すため、当社は、平成25年12月16日付で北陸地域でドラッグ事業及び調剤薬局事業を展開している㈱示野薬局の全株式を譲渡しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は47,046百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は1,253百万円（同24.9%減）、経常利益は1,284百万円（同22.1%減）、四半期純利益は2,588百万円（同208.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業につきましては、検査項目の拡販及び新規顧客の獲得に努めるとともに、ヒト遺伝子検査の受託数の拡大を図り、収益力の向上に取り組んでおります。

このような取り組みの結果、臨床検査の受託検体数は増加したものの、固定費の増加等により、臨床検査事業の売上高は21,987百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は448百万円（同61.2%減）となりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業につきましては、計画的に新規出店を行うとともに、セルフメディケーションを推進し、個別化医療に対応したサービスに取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間において、6店舗を開局、1店舗を閉局し、㈱示野薬局の株式譲渡に伴い14店舗減少したことにより、当四半期連結会計期間末における当社グループが運営する調剤薬局等店舗総数は107店舗（フランチャイズ店6店舗含む）となりました。

このような取り組みの結果、新店の処方箋枚数の増加等により、調剤薬局事業の売上高は14,146百万円（前年同期比7.4%増）となりました。また、営業利益は薬価改定の影響があった前年同期より増加し、871百万円（同79.0%増）となりました。

③ ドラッグ事業

ドラッグ事業につきましては、顧客ニーズに対応した商品構成・売場の見直しを行うとともに、物流及び店舗運営の効率化を図り、収益力及び競争力の向上に取り組みました。

しかしながら、既存店の来客数の減少等により、ドラッグ事業の売上高は10,919百万円（前年同期比3.0%減）、営業損失は10百万円（前年同期は72百万円の営業利益）となりました。

なお、㈱示野薬局の株式譲渡に伴い、当第3四半期連結累計期間においてドラッグ事業から撤退しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、当第3四半期連結会計期間に㈱示野薬局の全株式を譲渡し、同社を連結の範囲から除外している影響等により、前連結会計年度末に比べ1,622百万円減少し、35,677百万円となりました。

負債は、当第3四半期連結会計期間に㈱示野薬局を連結の範囲から除外している影響や借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ3,666百万円減少し、19,291百万円となりました。

また、純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ2,044百万円増加し、16,386百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ4,011百万円増加し、12,188百万円となりました。

営業活動の結果獲得した資金は1,499百万円(前年同四半期は3,301百万円)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4,627百万円、減価償却費1,091百万円、関係会社株式売却益3,401百万円及び法人税等の支払額599百万円によるものであります。

投資活動の結果獲得した資金は4,980百万円(前年同四半期は724百万円の使用)となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入5,880百万円によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は2,467百万円(前年同四半期は1,717百万円)であります。これは主に、長期借入金の返済による支出1,061百万円及び自己株式の取得による支出688百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、下記のとおり平成25年12月16日の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を変更いたしました。

営業利益につきましては、固定費の増加により、1,300百万円に変更しておりますが、金融収支の改善等により経常利益及び当期純利益につきましては、変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結累計期間において、(株)示野薬局の全株式を売却したことにより、同社を連結の範囲から除外しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,211	12,208
受取手形及び売掛金	4,829	4,834
商品及び製品	2,821	1,258
仕掛品	201	77
原材料及び貯蔵品	797	518
その他	1,850	1,376
貸倒引当金	△85	△39
流動資産合計	18,627	20,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,210	9,041
減価償却累計額	△6,094	△5,187
建物及び構築物(純額)	5,116	3,854
土地	4,645	4,618
リース資産	2,692	810
減価償却累計額	△1,702	△482
リース資産(純額)	989	327
建設仮勘定	53	25
その他	8,239	7,593
減価償却累計額	△7,217	△6,642
その他(純額)	1,021	951
有形固定資産合計	11,827	9,777
無形固定資産		
のれん	937	131
その他	615	615
無形固定資産合計	1,553	746
投資その他の資産		
その他	5,346	4,996
貸倒引当金	△54	△77
投資その他の資産合計	5,291	4,918
固定資産合計	18,673	15,442
資産合計	37,300	35,677

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,626	5,783
短期借入金	2,600	2,450
未払法人税等	303	1,460
引当金	760	253
その他	5,168	4,042
流動負債合計	16,459	13,991
固定負債		
長期借入金	2,985	2,108
退職給付引当金	1,658	1,654
役員退職慰労引当金	784	827
資産除去債務	222	137
その他	847	570
固定負債合計	6,497	5,299
負債合計	22,957	19,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	3,439	3,439
利益剰余金	7,294	9,793
自己株式	△49	△737
株主資本合計	14,056	15,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	286	519
その他の包括利益累計額合計	286	519
純資産合計	14,342	16,386
負債純資産合計	37,300	35,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	46,307	47,046
売上原価	33,628	34,500
売上総利益	12,679	12,546
販売費及び一般管理費	11,009	11,292
営業利益	1,669	1,253
営業外収益		
受取配当金	58	59
貸倒引当金戻入額	6	14
その他	85	113
営業外収益合計	151	187
営業外費用		
支払利息	89	77
支払手数料	54	29
その他	27	49
営業外費用合計	171	156
経常利益	1,650	1,284
特別利益		
投資有価証券売却益	—	46
営業権譲渡益	10	—
関係会社株式売却益	—	3,401
その他	0	0
特別利益合計	11	3,448
特別損失		
固定資産除却損	8	7
役員退職慰労引当金繰入額	—	74
減損損失	27	16
店舗閉鎖損失	33	—
その他	3	7
特別損失合計	72	105
税金等調整前四半期純利益	1,589	4,627
法人税、住民税及び事業税	798	1,829
法人税等調整額	△48	209
法人税等合計	750	2,038
少数株主損益調整前四半期純利益	838	2,588
四半期純利益	838	2,588

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	838	2,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106	233
その他の包括利益合計	106	233
四半期包括利益	945	2,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	945	2,822
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,589	4,627
減価償却費	1,166	1,091
減損損失	27	16
のれん償却額	119	119
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△23
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	69	86
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△336	△436
受取利息及び受取配当金	△67	△64
支払利息	89	77
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△3,401
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	—
売上債権の増減額 (△は増加)	709	△297
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△420	△102
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,109	134
その他	333	283
小計	4,385	2,109
利息及び配当金の受取額	64	62
利息の支払額	△75	△73
法人税等の支払額	△1,072	△599
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,301	1,499
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	23	10
有形固定資産の取得による支出	△459	△714
無形固定資産の取得による支出	△60	△178
投資有価証券の取得による支出	△342	△285
投資有価証券の売却による収入	—	204
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	5,880
保険積立金の解約による収入	—	54
その他	115	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△724	4,980
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300	△150
長期借入れによる収入	1,050	—
長期借入金の返済による支出	△1,743	△1,061
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△288	△271
配当金の支払額	△291	△296
自己株式の取得による支出	△143	△688
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,717	△2,467
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	859	4,011
現金及び現金同等物の期首残高	5,416	8,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,275	12,188

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年12月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式569,800株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が688百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が737百万円となっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ドラッグ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,881	13,171	11,255	46,307	—	46,307
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	1	0	8	△8	—
計	21,887	13,172	11,255	46,315	△8	46,307
セグメント利益	1,157	487	72	1,717	△47	1,669

(注) 1. セグメント利益の調整額△47百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,010百万円及び内部取引の消去に伴う調整額962百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」において減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において27百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ドラッグ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,982	14,145	10,918	47,046	—	47,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	1	0	7	△7	—
計	21,987	14,146	10,919	47,053	△7	47,046
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	448	871	△10	1,310	△56	1,253

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△56百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,018百万円及び内部取引の消去に伴う調整額961百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

平成25年12月16日付で、当社の連結子会社であった㈱示野薬局の全株式を譲渡したことにより、当第3四半期連結会計期間において同社を連結の範囲から除外し、「ドラッグ事業」から撤退しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において「ドラッグ事業」の資産はなくなっております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」において減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において16百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、㈱示野薬局の全株式を譲渡したことにより、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、「調剤薬局事業」において61百万円、「ドラッグ事業」において610百万円であります。

(企業結合等関係)

(子会社株式の売却)

当社は、平成25年11月14日開催の取締役会において、当社の連結子会社であった㈱示野薬局の全株式を㈱マツモトキヨシホールディングスに譲渡することを決議し、同日付で同社との間で株式譲渡契約を締結しました。

本契約に基づき、当社は、平成25年12月16日付で、当社が保有する全株式を㈱マツモトキヨシホールディングスに譲渡しました。

1. 株式譲渡の概要

(1) 譲渡先企業の名称

㈱マツモトキヨシホールディングス

(2) 譲渡した子会社の名称及び事業の内容

譲渡した子会社の名称 ㈱示野薬局

事業の内容 ドラッグストア及び調剤薬局の経営

(3) 株式譲渡を行った主な理由

㈱示野薬局は、平成22年4月に株式交換により当社の連結子会社となって以来、北陸地域を中心にドラッグストア事業を担う事業会社として、当社グループの事業全体の拡大に一定の成果を収める一方で、新規参入による競争激化や規制環境の変化等により、ドラッグストア事業の事業環境は年々激しさを増しており、この傾向は今後も継続するとみられています。このような厳しい事業環境も踏まえて当社グループの事業方針を検討していく中で、主力事業である臨床検査事業及び調剤薬局事業に経営資源を集中し、医療機関とのB to B ビジネスの更なる発展を目指していくことが当社グループにとって望ましいとの判断に至りました。上記の判断を受け、当社は、㈱マツモトキヨシホールディングスに同社の全株式を譲渡しました。

(4) 株式譲渡日

平成25年12月16日

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

譲渡の形式 受取対価を現金のみとする株式譲渡

譲渡した株式の数 16,000株 (保有全株式)

譲渡価額 5,500百万円

2. 実施した会計処理の概要

(1) 譲渡損益の金額

関係会社株式売却益 3,401百万円

(2) 譲渡した子会社の資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産 4,027百万円

固定資産 2,695

資産合計 6,722

流動負債 5,250

固定負債 682

負債合計 5,932

(3) 会計処理

「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、当第3四半期連結累計期間において、関係会社株式売却益3,401百万円を特別利益として計上しております。

3. 譲渡した子会社の事業が含まれていた報告セグメント

調剤薬局事業及びドラッグ事業

4. 当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている譲渡した事業に係る損益の概算額

	調剤薬局事業	ドラッグ事業
売上高	1,191百万円	10,918百万円
営業損失(△)	△20	△10